

# 令和2年度 奥越特別支援学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。  
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。  
・その他

(意見を聞いた方)

教育関係者代表、福祉関係者代表、事業所代表、昭和町区長代表、PTA役員

(意見欄)

○全般

- ・コロナウィルス感染症対策が徹底されている。小さいうちから、「新しい生活様式」を身につける取組もいい。
- ・新型コロナ禍で地域交流が難しかったということだが、子ども同士のつながりはかえって充実しているように感じられる。今年度はどこも地域にかかわる行事が中止だった。「新しい生活様式」を踏まえた地域活動のあり方を地域ぐるみで連携して考えていくとよい。
- ・この学校が頑張っている様子を見ると地域住民も親しみが増す。新型コロナ禍の中でも本校が頑張っている様子を知ってもらうための新聞や市の広報を上手に利用するとよい。
- ・アンケート結果の評価数値が低かった生徒に対する今後の対策はどうするか。  
→生徒の気持ちに寄り添い、教員間で情報共有しながら対応している。ご家族に対する支援も含め、医療や地域の相談員とも繋がりながら今後も対応したい。
- ・就労すると学校ほど手厚い対応は難しい。移行支援もしていると思うが情報共有が必要である。
- ・ホームページについては誰もが閲覧できる外部向けとパスワードで閲覧できる保護者向けの2本立てで考える方法もある。

○学習活動について

- ・新型コロナ禍で内向きになっている中、県内、市内、区内、校内などの身近なものの良さを再発見できるように社会とのつながりを考えるとよい。ICTが充実しているのも鍵になる。
- ・対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッドな授業が新しい状況になじめない、なかなか教室に入りづらい子どもたちに適していると感じた。
- ・子どもたちに注意指導する際の教師の言動について今後も配慮してほしい。

○学校行事やPTA活動について

- ・新型コロナ禍ではあるが、販売会など保護者が参加できる機会を考えてほしい。
- ・販売活動を校内だけでなく保護者にも注文を取ると学習意欲向上にもつながるのではないか。
- ・修学旅行は県内であっても楽しめたという声が多くできるだけ実施してほしい。  
→保護者迎えの可能性も考えて、県内泊を基準に実施できるよう計画している。

○危機管理

- ・緊急連絡メールで臨時休校やスクールバス運行中止の連絡はもう少し早く発信してほしい。  
下校便はステーション方式のスクールバスとお迎えが並行できないかなど検討してほしい。  
→児童生徒の安全を第一に考え判断しているが、今後の対応を検討したい。
- ・大雪時の学校周辺道路の除雪は学校からだけでなく区長を通して市に依頼するとよい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・新型コロナ禍における保護者の方や地域とのつながりの新しいかたちを模索しつつ、児童生徒の自立に向けたアプローチや協同による学び合いの教育実践をさらに深めていきたい。
- ・地域資源を活用し、医療、福祉、他の教育機関とも連携してチームで対応できる体制を推進したい。
- ・委員の方々にいただいたご意見を校内で共有し、課題については各学部や校務部でも検討して次年度に活かしたい。